

テキスト中のドイツ語およびフランス語文献の引用箇所：

「まさしくリストが、その時代までアテナイで人々がそのような折に頼りにしていたような神々をそしてそのような神々だけを含んでいたということから、それは全く在り来たりのものである。」 (p.370)

「沿え名は詩人達に見られるものと一致していない。……ゼウス・パンクラテスに与えられる公式の祭典はジェームソンによって引用されたヘシュキオスの注釈（を除いて）ギリシア世界には存在していない」 (p.370)

懐疑論者のハビヒトはゼレイアのアルトミオスの事例に関して、「確かな歴史的イベント」が存在していることに同意している。さらに彼は、「不幸にも、昔のそのような文書について言及している言い伝えが確かに存在しており」、「我々はその言い伝えを通じてそれら固有の中身を知りまた知っていると感じてきたのだ」ということを信じている。(p.376)